



人権啓発標語

『だいじょうぶ?』とっていっしょにあそぼう

菊陽南小学校 1年 舟戸 七海(現在2年生)



ともだちといっしょにハイポーズ!
(作者は右側)

ほいくえんからかえって
ごはんをたべたあと、おふろ
がたまるまでママとねんどあ
そびをしたよ。
ママはねんどでウインナー
をつくって、わたしはハン
バーグをつくったよ。
パパはにんじんのしごとが

担任より

家族のことが大好きでうちのことをよく話してくれる陽咲さん。お父さんの仕事の話やお母さんと遊んだこと、みんなで出かけたことをうれしそうに教えてくれます。
「あかちゃんのお世話をがんばるんだ!」ときょうだいの誕生を楽しみにしていました。弟が生まれてからは「あかちゃん、手とか口とかちいさいよ!」「よしよししてした」とにこやかに話す陽咲さんの表情でかわいがっている様子が感じられます。



「ママといっしょにあそんだよ」

「わたしのかぞく」

なかよし園 岩下 陽咲(6歳)

いそがしくわたしがねるまえにかえってきたよ。
ママはにんぷさんだよ。あと、3かいねたらうまれるよ。あかちゃんにあえるのはうれしい。あえたらギューってしたい。

11月10日~12月10日は熊本県人権月間です

みつめる、みとめる —みんな違う個性、みんな願う幸せ—

人権をより身近なものとするきっかけをつくるとともに、人権に対する正しい理解と認識を深めるため、熊本県人権フェスティバルをはじめとして、パネル展、シンポジウム・講演会・研究会など県や市町村による人権に関するさまざまなイベントが県内各地で行われます。ぜひご参加ください。

☎ 県人権同和政策課 ☎(333)2299



県人権啓発
キャラクター
コッコロ

日常生活の一コマから「人権」を考える

文責：菊陽町地域人権教育指導員 村上 秋成

7月22日に人権教育の研究大会がありました。

私はこの写真にある入り口を通過して会場で研修を受けたのですが、報告者の方の「身近な生活の中に人権に関わるアンテナを張っておきましょう」という言葉を聞き、そういえばと、大会後に会場の責任者の方に、出入りした時に気になったことをお伝えしました。その後すぐに対応されました。皆さんはこの写真に違和感がありますか?

大会の中で、報告者の方は「私たちの日常生活の中にあることからひとつずつ考えていけたら良いですね」ともおっしゃいました。

日常生活の何気ない一コマです。このような場面に出会うことがあるかと思えます。気にしたいものです。



学校だより 65

菊陽北小学校

『風鈴作り』

〜風鈴に願いを〜

7月26日、菊陽北小学校区青少年健全育成協議会、ふれあいの森研修センター共催の子ども教室が開催されました。本校1〜3年生の約50人が参加し、区長や民生委員などで構成される北小学校区青少年協の皆さんと一緒に、ペットボトルを使った風鈴作りを行いました。

ふるさとと人を愛する子どもを育むため、今後も地域の皆さんとの交流を大切にしていきたいです。



地域の皆さんと一緒に作った風鈴作り

菊陽句会報

きくよう文芸 8月

魂迎亡夫の知らざる孫三人	紫藤 祥子	夏椿句碑に寄り添ふ白さかな	田中 郁子
阿蘇裾野夕日残れり芒波	曾我 育代	蝉しぐれ天上からも地下からも	寺尾千代子
百日紅色濃く広く窓辺かな	曾我トモ子	暮暮しの気ままに感謝夕涼み	財津 早雪
孫が呼ぶ今日の幸せ夏祭り	緒方チエ子	疵手縫ひ古き浴衣に手を通す	原野レイ子
終戦の引揚げ我の歴史かな	米山るみ子	朝顔の生まれたてなる空の色	高橋 孝子
徴兵のありし日を子に終戦日	吉田 幸子	同僚と腰掛ける空ナツの雲	北川しんじ
働きは日々の感謝や百日紅	木村 信子	胸奥に亡夫の叱咤草茂り	佐藤 澄世

短歌会

台湾の送迎バスの駐車して駅にいつとき異国語あふる
植え遅れたキュウリは長く伸びており蔓絡まりて扱いにくし
熱帯夜の予報続けど田植え終え里涼やかに天の川見ゆ
これほどに落ちたレートで予約するドイツの宿はユーロに護られ
一茎にヒオウギの花咲きて立ち住みにし人の思い浮かびぬ
明け方の緑広がる棚田にはしらさぎ一羽東へ去りぬ
荒海に親は飛び込み鎮めたあと観音様が髪から出てきた

有久 賢治
梅田 園雄
佐藤せい子
田中 成美
中村トシエ
馬場 礼子
松本 東亜